

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		職員労働安全衛生管理事務		担当課	消防総務課	担当係	人事係	管理番号	4503	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・深谷市消防職員個人防火装備更新方針				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		各種災害に対応するために、消防職員に対して特殊性のある被服を購入し貸与するとともに、災害活動時の職員の感染防止を図る。								
目的 ※何のために		特殊被服を購入、貸与し、災害時の職員の安全確保を図る。また、破傷風等の予防接種を実施し、職員の活動中の感染防止を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		消防職員								
手段 ※どのように		特殊被服の購入・貸与、健康診断と抗体検査・予防接種の実施								
成果 ※何を求めるか		職員の安全の確保と感染症への感染防止								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	1	常備消防費	職員労働安全衛生事務費	20,033,325
本事業の 主な業務		・消防職員用特殊被服等の購入(平成24年度から)							・	
		・健康診断実施に伴う医療機関との委託契約事務							・	
		・感染症予防接種の実施							・	
		・衛生管理者・衛生推進者の育成							・	
		・消防職員委員会の開催							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	8,558,000	33,543,000	34,557,000	30,286,000	23,638,000	11,588,000
	決算額	8,107,737	33,206,913	32,933,086	29,255,128	20,033,325	0
	財源内訳	国支出金	0	0	5,834,000	7,906,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,665,000	7,037,000	6,371,000	3,175,000	2,315,000
		一般財源	6,442,737	26,169,913	25,538,086	8,952,325	9,273,000
人件費	従事職員数(人)	0.85	0.85	0.85	0.85	1.20	1.25
	人件費相当試算※	6,612,150	6,614,700	6,681,850	6,915,600	9,314,298	10,164,185
総事業費試算		14,719,887	39,821,613	39,614,936	36,170,728	29,347,623	21,752,185

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	更新用被服等の購入（制服・活動服・防火服等）	目標値	千円							
		実績値		4266.51	27684.23	29279.15	21289.63	7885.79	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			職員の被服貸与については、平成24年度から申告制としたため目標値は設定しない。 / 更新用被服等の購入決算額						
	実績値の算出式									
活動指標 2	B型肝炎抗体検査実施率（現場活動従事職員）	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値		94.74	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			抗体有無を把握し感染事故を未然に防止するため、全現場活動従事職員を対象とする。 / 検査受験者数/対象者数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	破傷風ワクチン接種実施率（採用1・2年目職員）	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値		100	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			小児期に接種したワクチン効果の消失を考慮し、採用2年目までの全職員を対象とする。 / 接種人数/対象者数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	活動中の感染事故の発生件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			感染事故によって職員を欠くことなく、現場体制を維持するため。						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	更新用被服については、職員からの申告に基づき、購入及び貸与することができた。また、胴ベルト型墜落制止用器具についても、予定どおり対象者に更新することができ、現場活動に従事する職員の安全確保を向上させることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	災害活動中における感染事故もしくは感染するおそれのある針刺し事故等の発生はなかった。
			評価者 人事係長 川俣 耕輔

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	被服貸与については、電子申請システムを利用した申告に変更し、集計事務にかかる負担を軽減することができた。
			評価者 人事係長 川俣 耕輔

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	世界的に感染拡大が今なお続く新型コロナウイルスに対し、職員の感染防止を徹底するために、今後必要な資機材について、引き続き検討していく必要がある
達成状況及び その効果	執務室内のアクリル板を設置したり、空気呼吸器用面体等を購入し職員間の共用を廃止させたりすることで、新型コロナの職場内における感染拡大防止を図ることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	職員労働安全衛生管理事務	担当課	消防総務課	担当係	人事係	管理番号	4503
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直しして継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		更新用被服は申告に基づき計画どおり貸与でき、胴ベルト型墜落制止用器具についても予定どおり更新することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策で空気呼吸器用面体を整備し職員間の共用を廃止した。今後も各種ワクチン接種は計画的に進め、新型コロナウイルス感染症に対しても職員の感染防止を徹底し、現場活動に従事する職員の安全を確保するための必要な資機材の整備について検討していく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	職員委員会の意見内容の実現までの過程における職員や委員の関与度を高めるため、委員会の運営方法について、検討する必要がある。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	職員の公務災害を防止するため、災害活動等による職員の身体的負担を軽減させるための資器材導入等について検討する必要がある。

8. 評価指標グラフ

